



ひの市民活動団体連絡会ニュース19号

平成 22 (2010) 年 8 月 15 日
発行：ひの市民活動団体連絡会
会長 梁瀬 悦司

編集：広報部会
〒191-0012 東京都日野市日野 1369 - 27
Tel / FAX 042-581-6144
E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
URL: //hinokaturen.sakura.ne.jp/index.htm.

第8回 NPOフォーラム 「企画提案ワークショップ」 ～「協働」を一步進めるために～

2004年から毎年開催してきた「NPOフォーラム」。今年は、6月20日(日)1時半～4時半まで市民活動支援センター行いました。

内容は平成19年3月に策定された「市民活動団体(NPO)と市との協働のための指針」を踏まえ日野市の事業について、市民活動団体と行政が協働できる企画はどのようなものがあるのかを探り、行政と市民活動団体との協働を推進するために、担当分野別に2つのグループに分かれて市職員とNPOで「企画提案ワークショップ」を行いました。

今回も行政から13名と日曜日にも関わらず多くご参加いただきました。市民団体側からは14名の参加があり、行政との協働の糸口を見つけようと熱い時間を過ごしました。

【先行事例の紹介と新たな企画提案】

A グループ：福祉・安全・安心・子育てなど

- ・公設民営のプレーパーク（冒険遊び場）の設置
- ・幼稚園・保育園の枠を取り払った保育の場
- ・障害者理解教育の推進
- ・介護保険制度にとらわれない高齢者デイサービス
- ・生涯学習の場づくり
- ・障害者支援の充実
- ・高齢者の見守り支援への市民の積極的参画 など



B グループ：A グループ以外

- ・事業仕分けをNPOや民間に依頼している自治体
- ・人材発掘や育成のための地域大学や大人の寺子屋などの取り組み
- ・自治体発行の広報に市民の編集者を参加させる取り組み
- ・用水保全水辺環境の保持など環境先進市としての日野市の高い評価
- ・ゴミ改革、生ゴミリサイクルの実践
- ・市民の「発見隊」「探検隊」が地域の問題を発見したり提言する取り組み など

【参加した感想】

第8回となる NPO フォーラム。8年間継続して行政職員と共に「協働」について考えてきた。今年度の馬場市長のスローガン「公民協働」実現のため最先端で8年前から取り組んできてきたことになる。ここ数年経済状況も変化し、厳しい時代だからこそ「市民活動団体」への期待も高まっていると感じる。

今回も行政職員と市民活動団体とが、立場を越えて話し合える貴重な時間となった。日ごろはどうしても担当者とのみとの意見交換になる。同じ課の中に話したことのない職員はたくさんいる。このようなフォーラムの中で意欲的な若手職員と頭をつきあわせて、共に日野市の将来について語り合うことから新しい取り組みや工夫が生まれてくるのだと思う。市民活動団体としても行政職員の思いや苦労にきちんと耳を傾けることは今後活動していく上で欠かせない。そうして積み重ねる「一步一步」こそが大切だと感じた。

(広報部会 中川ひろみ)

○▼□参加団体活動紹介○▼□

NPO法人シニアネットクラブ



NPO 法人シニアネットクラブは、急速に進化する IT 社会に高齢者の方々が戸惑いなく順応出来、楽しいシニアライフを過ごせるように2003年に設立され、現在は八王子市・日野市・多摩市にスタッフ70名、受講生約700名のパソコン教室を運営しています。

パソコンを楽しむことが目的ですので、初めてパソコンに触れる方は電源の入れ方や文字入力の練習から始めます。「やさしく、ゆっくり、親切」をモットーに皆さんのペースに合うよう繰り返し練習します。年賀状・案内状・カレンダー・インターネット・メール・デジカメも出来るようになります。

私たちは皆さんと一緒にパソコンを活用し、いつまでも生活ネットワークの輪を広げながら楽しいシニアライフを送ることを共有したいと願っております。パソコンを習いたい方、スタッフに参加したい方はお気軽にお声掛けください。

事務局 久保寿一

(HP : <http://snc.nngo.jp/> ☎080-3176-6240)

日野・発達障害を考える会(親の会)

「スキッパー」



「スキッパー」は「小型船の船長」の意味。三年前に、発達障害を持つ子どもの親が中心に作りました。子どもの事を思う様々な立場の方たちと一緒に障害の有無、種別、関わる立場に囚われず子ども中心に発達障害に関する問題を共に考え、居場所作り等の活動をしています。

現在の活動拠点は平山台健康・市民支援センターです。定例会(現在は毎月第三土曜日)、家族参加行事(おやつ作り、キャンプ、クリスマス会など)、学習会、講演会などの行事、会報の発行などを行っています。

発達障害についての認知は高まっては来ていますが、その障害は見た目にはわかりづらく、親子ともに生きづらい世の中です。発達障害について、当事者、家族、地域の方々と共に考えていける事を願っています。(団体主催の講演会のお知らせを4面に掲載)

代表 宮崎 雅子

(連絡先 : yuto.rui@gmail.com)

金曜サロン報告 「今、NPOに何を期待しているか」

「金曜サロン」は、月1回金曜日の夜19時から市民活動支援センターで開催している。5月は企画部荻原部長を、6月は環境共生部檜本部長を、7月は教育委員会教育部宇津木参事を講師にお招きし行政と市民活動団体が協働できることについて考えました。

《6/18 環境共生部門から協働できること》

今年度の予算を基に部の多くの課題についての説明を聞いた。自分は廃棄物や用水路関係などの活動をしていることから、部内の各課の主な事業について少しはわかっているつもりだった。しかし、改めて説明を聞いて部の守備範囲の広さに驚いた。日野市では環境関連だけでも、すでにいろんな団体、個人が行政と協働している事例も紹介された。今後財政状況は好転するとは思えない。その一方で福祉や環境、子育てなど新しい行政需要は減ることはない。したがって NPO の出番も増えることは間違いない。これを担う人材発掘が急がれる所以である。部長の「これからは新しいニーズに対して行政がやる必要があるものかどうかを見極めることが大切だ」という言葉が印象的だった。

(ひの・まちの生ごみを考える会 伊藤)

《7/16 生涯学習部門で協働できること》



教育委員会生涯学習部門の組織と今年度の取り組みを担当職員数、事業予算など具体的な数字を上げながらお話しいただいた。特に築44年となり老朽化している公民館立て替え(または大規模改修)にむけて市民と作成した「公民館基本計画」を紹介された。



市民からは「市民委員と言っても公募ではないので壁を感じる」「ボランティアを市職員が統括するスタイルに違和感がある」「人材育成に取り組んでいるのか」という質問や意見が寄せられた。(NPO法人子どもへのまなざし 中川)

《金曜サロン 今後の予定》

8/20「NPO法人たまりばあ」の代表鈴木さん、9/17「ひの炭やきクラブ」の代表中島さんを講師にお招きし、団体の活動紹介や活動への思いを語っていただきます。どなたでもご参加いただけます。講演後は簡単なおつまみとアルコールを用意した懇親会も恒例です。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加下さい。

【セミナー参加報告】

「チラシ道場」

講師 吉田理映子氏（ハンズオン！埼玉）

7月21日開催のこのセミナーは日本ファンドレイジング協会がNPOのために定例的に開催している講座の一つである。講師は、広告代理店で企業広告担当を経てNPOへ転職し、現在は参加型市民活動情報センター「ハンズオン！埼玉」の副代表理事としてNPO、行政などの非営利機関の広報活動支援やイベント企画をしています。以下講演のポイントをまとめました。

非営利機関の広報・イベント開催のポイント

1. 伝える相手を絞り込む。

あの人にもこの人にもではダメ。ターゲットを絞り込んでうまく伝えれば、あとはその人が隣の人に伝えてくれる。（ビリヤード大作戦）

2. 「助けて」ではなく「参加」してもらう。

参加者をお客さんにせず、当事者として取り込む仕掛けをいかに作るか。チラシにもそんな工夫ができる。

3. 途中を見せる。

関係者だけで決めて結果を示すのではなく、途中を見せることにより無関係であった人も関心が高まる。

4. マスコミには「お願い」ではなく「相談」に乗ってもらう姿勢で。

マスコミは参加経験のない人への発信手段として非常に有効。だが「お願い」ではNPOの使命である「社会を変える」ことにはつながらない。

（広報部会 湯口裕）

恒例！春のねんも公園除草をしました！



暑い中
お疲れ様
でした！

6月13日（日）
参加者28人
（参加団体
28団体）



～ 活動をたくさんの方に

知っていただくために ～

●加盟団体パネル展

7月20日～7月30日、市役所1階市民ホールにて、加盟団体の活動をパネルで紹介しました。

●アート・フェスティバルに模擬店を出店

8月21日（土）22日（日）
日野市自然体験広場（仲田小学校となり）
加盟団体から協力者を募り、連絡会として模擬店（フランクフルト、ホットドッグ、ガーリックトースト、パウンドケーキ）を出店します。

●パンフレットをリニューアル

市民活動団体連絡会のこと、市民活動支援センターのことがわかりやすくまとめてあります。ぜひ、ご一読ください。

日野発

寄付文化の創生に向けて

一人ひとりの市民がボランティア精神を発揮して、行政と一緒に動かなければ住みよい地域作りができない時代に突入しています。

「ふるさと納税制度」を活用した市民の寄付による地域活性化の取り組みを学び、市民参画の重要な形態の一つである「寄付文化」について考えます。

内容：

- 基調講演 10:00-11:00 「寄付文化の潮流 ―日本と世界―」
講師 鶴尾雅隆氏（NPO法人日本ファンドレイジング協会常務理事・事務局長）
- 報告と意見交換 11:10-12:30 「自治体における寄付募集と活用の現状」
報告者 湯口裕（ひの市民活動団体連絡会 世話人）

※ 準備の都合上、参加ご希望の方は連絡会事務局へ電話またはファックス（042-581-6144）で申込み下さい

日時： 平成22年9月11日（土）

10:00～12:30

場所： 日野市生活・保健センター

申し込み・お問い合わせ： 連絡会事務局

主催： ひの市民活動団体連絡会

後援： 日野市／日野市社会福祉協議会

備品の貸出をしています

地域協働課では、コミュニティ活動推進のため、日野市の自治会や市民活動団体、サークル団体などを対象に、備品の貸出をしています。イベントや講演会などを催される際にお役に立つと思いますので、ぜひご活用ください。

貸出備品の一部をご紹介します。

- ・プロジェクター
- ・スクリーン（８０インチ）
- ・ワイヤレスアンプ（マイク付）
- ・テント
- ・折りたたみ椅子
- ・長机

- ・座卓
- ・パネルボード

ご予約は、貸出日の６ヶ月前から可能です。
平日８：３０～１７：１５で受け付けています。
どうぞお気軽にお問合せください。

(TEL ５８１－４１１２)



(写真はワイヤレスアンプとプロジェクターです)

《 加盟団体主催の講演会のご案内 》

子育て中だから考えたい！

「子どものあそびと大人の役割」

主催 NPO法人子どもへのまなざし
日時 １０月１５日(金) １０時３０分～１５時２０分
場所 自然体験広場「なかだの森」(仲田小学校となり)
講師 渡部達也氏
(NPO法人ゆめ・まち・ねっと代表)
参加費 無料(独立行政法人福祉医療機構助成事業)
問合わせ 藤浪 info@manazashi2009.sakura.ne.jp

「生きる力とコミュニケーション・スキル」
～「伝えること」をあきらめないで～

主催 日野・発達障害を考える会(親の会)「スキッパー」
日時 １０月２４日(日) １３時３０分～１５時２０分
場所 多摩平の森ふれあい館 集会室６
講師 カニングハム久子氏
(コミュニケーションセラピスト)
参加費 １０００円
問合せ・申込 宮崎 yuto.rui@gmail.com

◇◆事務局だより◆◇

※ 支援センター施設・設備の

使用ルールの再確認と遵守を！

支援センターの利用については、安全確保と冗費カットのためルールを守った使用をお願いしておりますが、退出時の点検・コピー機の使用の誤りなど数々の不適当なところが見受けられます。

今一度の確認と遵守をお願いします。

※ NPOカルテ２０１０年版発行

NPOカルテ２０１０年版が発行されました。
会員団体に１部を配布のほか、生活保健センターPRラックに常備します。

※ 新入会員

夢蔵サロン日野(代表 青山月子)
が７月に入会しました。

現在の総会員数３４団体です。

(事務局 山本・山崎)



編集後記

久しぶりにモノレールに乗り、甲州街道駅ホームの西端で電車の到着を待っていると、「ひの市民活動支援センター」の文字が目飛び込んで来た。改めてみると、やはり「支援センター」の看板である。２階の屋根や建物の輪郭もはっきり分かる。駅から支援センターがこんな近くに見えるのだ。ふだんは電車の到着や友人との会話に集中しているから気づかなかった。人は無意識にいろいろなモノを見ているが、モノは意識して初めて見えるものだ。他日、反対側立川方面行きホームから覗いたが七輪坊の大きな看板に遮られ「支援センター」は見えなかった。(まちづくりフォーラム・ひの中尾)